

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

将来、こどもに関連する職業に就きたいと考えており、小学校教員の免許をとれつつこどもの周りの文化などについて学べる学部を探している時、同志社女子大学の現代こども学科が自分にぴったりだと思ったから。

受験勉強の進め方【1学期】

4.5月は新型コロナウイルスの影響で、自宅で学校の課題やオンデマンドの授業をこなしながら高校1.2年の基礎の部分を1から復習し直していました。理解していたはずの教科でも忘れていたり、記憶が残っていることがよくあったのでこの基礎からの復習は本当に大事だと思います。

学校が再開してからは、予習をしてから授業を受けるように心がけていました。(特に英語)あとは、毎週の単語のテストはしっかり勉強し、合格するようにもしていました。英語が苦手な人は1学期の間に単語の知識を固めておくと、2.3学期にぐんと成績があがると思います！

受験勉強の進め方【夏休み】

コロナ禍でまた夏休みがなく、気持ち焦っていましたが、いつも通り学校から出た課題と、それに合わせて問題集などもやり始めるようになりました。私は英語が特に苦手だったので最初問題集をはじめた時は全然合わずに落ち込んでいましたが、この時期はまだ落ち込むのは早いです。毎日レキネクステージなどの教科書で文法の基礎固め、単語の知識増量、200~300字程度の長文を読み慣らす。この3つのサイクルを夏休みが入ってから行っておくと、秋頃には確実に成績があがります。実際私もこのサイクルを内まりずきちゃんとやったので成績があがりました。現代文、古文に関しては過去に自分が受けた模試もやりなおしたり、古文においては単語を毎日クイズでもいいので見るようにしていました。1学期に引き続き、夏休みも基礎固めは怠らないようにしていました。

受験勉強の進め方【2学期~入試直前】

夏休みあけて、いよいよ2学期に入るとようやく赤本に手をつけはじめました。過去問題を解くと、出題傾向やどこを重点的に勉強しなければならないのか、明確化するのでも勉強サイクルの見直しも出来ます。過去問を解くのと平行して英語は文法知識の見直しや長文の読解問題、古文は基礎文法のドリルに加えて、応用の文法問題もやり、現代文はセンター試験の過去問題を解いていました。入試直前まで何回も赤本を解き出題傾向に慣れ、ここを解くのにどこを見ないといけないのかというのをつかむのがポイントです。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

特に携帯電話の触りすぎには気をつけていました。Youtubeなどの動画アプリは1回見るとすぐ見続けてしまうのでアンインストールをして極力見ないようにしていました。また、スランプになった時は今までやってきた勉強量を見て「これだけやってきたから大丈夫」と自分に言い聞かせたり、息抜きに1日何もやらない日などを作りリフレッシュしたりしてスランプを脱却していました。それから、先程述べた「自分の勉強量を見る」手段としてStudyPlusというアプリを使っていました。教科ごと、教科書ごとにとれだけ勉強したかなどが見える化できるのでおすすめです！

受験生のみなさんへ

「毎日つつ、息抜きもする!」が一番合格の近道だと思います。コロナ禍で先が見えず、成績も波があって不安ばかりの受験期だと思いますが、基礎をぐんぐん固めて自分を信じればきっと合格できます!諦めないで!

